

は し が き

当教育センターは、県教育の充実振興に資する目的で、現職教育の各種研修事業をおこなっていますが、学校カウンセラー養成定期研修も、その一つであり、本研究集録も、今回で10集を数えるにいたりしました。

今日の学校教育は、急速なる社会・経済の進展とはうらはらに、ますます複雑化し、深刻化した多くの問題をかかえてきております。このような状況下において、求められる「人間性回復」の問題は、教育の中心的課題でもあり、この際私たちは真剣に教育活動の全分野にわたり反応と検討を加えてみなければならないと思います。

「教える教育から、学ぶ教育へ」という、実践的論理の転換も、ここから発せられたものであり、児童・生徒が、真に主体的に学ぶという活動への、惜しみない援助こそが、教育相談や生活指導などの志向するものであり、ひろく教育全般にわたる基盤であると信じております。

ここに収められた、24編の研究は、昭和46年度、当教育センターに定期的に来所し、研修を重ね、修了された先生がたが、その後、各学校において、1か年間、学習指導はもちろん、教育相談、生活指導、進路指導、特殊教育など、まことに多忙ななかにあつて、研修の成果をいかしながら、実践をとおしてまとめあげられた貴重なものであります。それゆえに、実践場面における具体的諸問題を考察するうえに、何かと参考になることが多いものと思います。広くご活用いただき、また率直なご批判をも賜われれば幸いに思います。

おわりに、各先生がたが、日々の校務の間に、このような成果をあげることができましたことは、ひとえに各校長先生はじめ全職員のご理解とご支援によるものと思ひ、ここに深く感謝の意を表します。

昭和47年11月1日

新潟県立教育センター所長 土 肥 博